



軽防協ニュース速報

2024年第4四半期(10月-12月)の伝染病発生状況

2025年1月配信

(International Collating Centreからの情報)

ICCの概要

International Collating Centre (ICC) は、35年以上にわたり、世界的な馬の疾病発生データを収集しており、Equine Infectious Disease Surveillance (EIDS) によって監視されている。ICC は国際馬術連盟、国際サラブレッド生産者連盟のメンバー、日本中央競馬会、ランウェイズスタッドからの寄付によって、多大な支援を受けています。

ICC は国内および国際的な馬の疾病発生を毎日電子メールで報告している。報告を受け取るには equinesurveillance@vet.cam.ac.uk までご連絡ください。ICC ビューアー Web サイトでは、詳細でインタラクティブなレポートを提供している。利用者は国または地域別にデータを分析し、特定の日付範囲と条件を選択して、報告された発生の概要を表示できる。<https://equinesurveillance.org/iccview/>にアクセスしてください。

レポートの概要

この記事は 2024 年第 4 四半期の各国の伝染病発生状況の要約したものである。また、ICC 暫定 (リアルタイム) レポートでは報告されなかった国における疾病発生状況の追加情報も含まれている。この追加情報は、本レポートの表と本文の該当する箇所に # 印を付して示されている。

このレポートに示されているデータは慎重に解釈する必要がある。サンプルが各国の研究所に提出され、その後報告に至るまでの方法に多少のバイアスがあるかもしれない。そのため、これらのデータが必ずしも世界各地における馬の集団内での伝染病発生率を的確に反映しているわけではない。

疾病の発生が報告されていない国は、必ずしもその国でその疾病が存在していないということではない。各表は国によって報告された病気の発生件数をまとめたものであり、1 件の発生で複数頭を含むものがある。

レポートは疾患区分別に記載する。

- ・繁殖器疾患
- ・呼吸器疾患
- ・消化器疾患
- ・神経疾患
- ・その他の疾患

繁殖器疾患

発生国	CEM	EHV-1	EHV-4	EHV-1/-4	レプトスピラ症
アルゼンチン	-	1 [#]	-	-	-
ベルギー	-	-	-	-	2
フランス	-	3	1	-	-
ドイツ	2	-	-	1 [#]	1
日本	-	3 [#]	-	-	-
オランダ	-	1	-	-	-
南アフリカ	-	1 [#]	-	-	-
スウェーデン	-	1	-	-	-

[#]四半期後に報告があった追加情報

馬伝染性子宮炎（CEM）

ドイツ

バイエルン州とノルトライン・ヴェストファーレン州における単独感染が2件報告された。亀頭窩、尿道および尿道洞、陰茎鞘から採取したスワブでPCRおよび培養を行い、陽性であることが確認された。

馬ヘルペスウイルス1型（EHV-1）による流産

#アルゼンチン

四半期終了後、1施設においてワクチン接種歴不明の非サラブレッド種5頭の流産1件が報告された。陽性診断はPCRで確認され、A2254/N752DNAポリメラーゼ遺伝型（これまで非神経病原型として分類）であった。

フランス

ブーシュデュローヌ県、カルヴァドス県における単独感染の流産3件が報告された。陽性診断は胎子組織を用いたPCRで確認された。

#日本

四半期終了後、異なる3施設においてワクチン接種非サラブレッドおよびサラブレッドの流産が3件報告された。陽性診断はPCRで確認された。

オランダ

フレボランド州レリスタットにおいて妊娠6-7か月の流産が1頭報告された。陽性診断は胎子組織を用いたPCRで確認された。

#南アフリカ

四半期終了後、フリーステート州において1頭が報告された。

スウェーデン

ヴェルムランド県カールスタードにおいて流産が 1 頭報告された。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による流産

フランス

オルヌ県において流産が 1 頭報告された。陽性診断は胎盤組織を用いた PCR で確認された。

ヘルペスウイルス 1/4 型 (EHV-1/-4) による流産

#ドイツ

四半期終了後、ヘッセン州の 1 施設において 14 歳サラブレッド牝馬における流産 1 件が報告された。その牝馬は妊娠最終月であった。陽性診断は胎子組織を用いた PCR で確認された。

レプトスピラ感染症による流産

ベルギー

エノー州、西フランダース州において流産の単独発生が 2 件報告された。流産はいずれも妊娠 6 か月生じた。陽性診断は胎子組織を用いた PCR で確認された。

ドイツ

ニーダーザクセン州の 1 施設において流産 1 件が報告された。陽性診断は胎盤組織を用いた PCR で確認された。

呼吸器疾患

発生国	EHV-1	EHV-1/4	EHV-2	EHV-4	EHV-5	Flu	腺疫	S.zoo
ベルギー	-	-	1	-	-	-	3	-
カナダ	1	-	-	-	-	9	2	-
フランス	13	1	-	34	-	1	26 [#]	-
ドイツ	3	-	-	6	-	-	6 [#]	-
オランダ	2	-	-	18	-	-	33	-
南アフリカ	4 [#]	-	-	-	-	-	-	-
スウェーデン	2	-	-	-	-	1	2	1
スイス	-	-	-	2	1	-	2 [#]	-
イギリス	1	-	-	6	-	11	-	-
アメリカ	1	-	-	-	-	6	18 [#]	-

[#]四半期後に報告があった追加情報

馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による呼吸器感染症

カナダ

ケベック州 MRC ボース・サルティガンの 1 施設においてワクチン接種 1 歳馬の *Streptococcus zooepidemicus* との混合感染が 1 頭報告された。臨床症状は咳、膿性鼻汁、呼吸雑音の上昇であった。

フランス

13 件の流行が報告された。1 件はオードセーヌ県の 1 施設における 3 頭、3 件はカンタル県、エソンヌ県、ロワールアトランティック県における 2 頭、9 件はエソンヌ県、ロワールアトランティック県、ノール県、サルト県、セーヌエマルヌ県、イブリーヌ県における単独感染であった。陽性診断は鼻咽頭スワブ、血液、もしくは喉嚢洗浄液による PCR で確認された。

ドイツ

3 件の流行が報告された。バイエルン州、ニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州における施設でそれぞれ単独感染であった。陽性診断は鼻腔スワブを用いた PCR 法で確認された。

オランダ

フリースラント州、ゾイトホラント州の施設においてそれぞれ単独感染が報告された。陽性診断は PCR 法で確認された。

#南アフリカ

四半期終了後、ハウテン州 (2 頭)、北ケープ州 (1 頭)、西ケープ州 (1 頭) で報告された。

スウェーデン

ストックホルム県、ウプサラ県における 2 件が報告された。

イギリス

ウェールズ州ニューポートの 1 施設において 1 頭報告された。臨床症状として発熱、食欲不振、無気力、激しい乾いた咳が認められた。陽性診断は鼻咽頭スワブの PCR で確認された。

アメリカ

ワイオミング州の 1 施設において 1 頭の感染が報告された。

馬ヘルペスウイルス 1/4 型 (EHV-1/-4) による呼吸器感染

フランス

カルヴァドス県において 1 頭報告された。陽性診断は鼻咽頭スワブの PCR によって確認された。

馬ヘルペスウイルス 2 型 (EHV-2) による呼吸器感染

ベルギー

東フランダース州において 1 頭が報告された。臨床症状として、発熱、咳、鼻汁、リンパ節腫脹が見られた。陽性診断は、鼻腔スワブの PCR によって確認された。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による呼吸器感染

フランス

34 件の流行が報告された。1 件はマイエンヌ県の 1 施設における 3 頭、4 件はカルヴァドス県、オートガロンヌ県における 2 頭、29 件が以下の地域における単独感染である：ブーシュデュローヌ県、カルヴァドス県、シュール県、エソンヌ県、ウール県、ジロンド県、オートガロンヌ県、オートマルヌ県、オードセーヌ県、マイエンヌ県、ノール県、オアーズ県、ローヌ県、サルト県、タルヌ県、イブリーヌ県。陽性診断は鼻咽頭スワブを用いた PCR によって確認された。

ドイツ

6 件の流行が報告された。1 件はノルトライン・ヴェストファーレン州の 1 施設における 6 頭、1 件はノルトライン・ヴェストファーレン州の 1 施設における 3 頭、1 件はブランデンブルク州の 1 施設における 2 頭、3 件はノルトライン・ヴェストファーレン州の異なる施設における単独感染である。陽性診断は鼻腔スワブの PCR で陽性と診断された。

オランダ

以下の地域において 18 件の単独感染が報告された：ドレンテ州、フリースラント州、リンブルク州、ノールトブラバント州、オーファーアイセル州、ノールトホラント州、ゾイトホラント州、ユトレヒト州。陽性診断は PCR で確認された。

スイス

ベルン州における異なる施設で単独感染が 2 件報告された。陽性診断は PCR で確認された。

イギリス

以下の地域における各施設で 6 件の単独感染が報告された：ケンブリッジシャー、エセックス、ヘレフォードシャー、ノーサンプトンシャー、ウォリックシャー。臨床症状には、咳、食欲不振、無気力、リンパ節腫脹、くしゃみ、鼻汁、発熱があった。陽性診断は鼻咽頭スワブの LAMP もしくは PCR により確認された。

馬ヘルペスウイルス 5 型 (EHV-5) による呼吸器感染

スイス

ボー州において 1 頭報告された。臨床症状は発熱と食欲不振であった。陽性診断は LAMP により確認された。

馬インフルエンザ

カナダ

9 件の流行が報告された。1 件はオンタリオ州の 1 施設における 2 頭、8 件はオンタリオ州とケベック州の施設における単独感染であった。臨床症状は咳、鼻汁、発熱であった。

フランス

ロワレ県において 1 頭報告された。臨床症状は咳、鼻汁、リンパ節腫脹であった。陽性診断は鼻咽頭スワブの PCR で確認された。

スウェーデン

ヴェルムランド県エシルスウーナにおいて最近輸入された馬 1 頭が報告された。PCR で陽性と診断された。

イギリス

11 件が報告された。1 件はアバディーンシャーの 1 施設における 3 頭の感染であり、10 件は以下の施設における単独感染であった：チェシャー、グロスターシャー、ノーフォーク、ノースヨークシャー、ノーサンバーランド、ロンザ・カノン・タフ、シュロップシャー、サウスエアシャー、スタフォードシャー。すべての発生は 10 月中旬から 11 月上旬の間に発生した。3 件は最近輸入した馬、4 件は施設への新入厩、1 件は EHV-4 呼吸器感染症との混合感染であった。陽性診断は鼻腔もしくは鼻咽頭スワブの PCR で確認された。

アメリカ

6 件が報告された。1 件はメリーランド州の 1 施設における 3 頭、2 件はインディアナ州とウィスコンシン州における 2 頭の感染であった。さらにそのうち 2 件ではオークションで最近購入された馬であった。

腺疫

ベルギー

東フランダース州および西フランダース州において 3 件の発生が報告され、いずれも単独感染であった。そのうち 1 件は EHV-2 と EHV-5 との混合感染、もう 1 件は EHV-1、

EHV-2、EHV-5 との混合感染であった。陽性診断は鼻汁スワブによる PCR もしくは細菌培養で確認された。

カナダ

オンタリオ州の異なる施設における単独感染 2 件が報告された。臨床症状は食欲不振、無気力、異常呼吸音、発熱、下顎膿瘍からの排膿であった。

#フランス

26 件が報告された。1 件はアンドルエロワール県の 1 施設における 3 頭、2 件はムーズ県とロワールアトランティック県における 2 頭、23 件は以下の施設における単独感染であった：アリエージュ県、ブーシュデュローヌ県、カルヴァドス県、フィニステール県、オートザルブ県、イルエビレーヌ県、イゼール県、アンドロエロワール県、ランド県、ロワールエシュール県、ニエーヴル県、ノール県、オルヌ県、ソーヌエロワール県、ベルフォール県、バルドマルヌ県、ボージュ県、イブリーヌ県。陽性診断は鼻咽頭スワブ、鼻腔スワブもしくは喉嚢洗浄液による PCR で確認された。四半期後にアリエージュ県の 1 施設における 5 頭の流行が報告された。臨床症状は咳、鼻汁、発熱であった。陽性診断は PCR で確認された。

#ドイツ

4 件が報告され、いずれもニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州における単独感染であった。陽性診断は 1 件では鼻腔スワブの PCR と細菌培養であり、3 件では喉嚢洗浄液による PCR で確認された。四半期後にラインラント・プファルツ州における単独感染 2 件が報告された。

オランダ

以下の地域で 33 件の単独感染が報告された：ドレンテ州、フレボランド州、フリースラント州、ヘルデルラント州、フローニンゲン州、リンブルフ州、ノールトブラバント州、オーファーアイセル州、ゾイトホラント州およびユトレヒト州。陽性診断は PCR で確認された。

スウェーデン

2 件の流行が報告された。1 件はウプサラ県の 1 施設における 1 頭以上であり、1 件はヴェストマンランド県の 1 施設における 1 頭である。これは鼻咽頭スワブによる PCR で確認された。

#スイス

2 件の単独感染が報告された。1 件はルツェルン州で、発熱、呼吸器症状、咽頭後リンパ節膿瘍を呈した。陽性診断は PCR で確認された。もう 1 件は四半期後にフリブール州で報告された。臨床症状は発熱、呼吸器症状で PCR によって陽性が診断された。

#アメリカ

18 件が報告された。そのうち 2 件はオハイオ州とウィスコンシン州における 2 頭の感染、15 件はカリフォルニア州、フロリダ州、アイダホ州、ミシガン州、ペンシルバニア州、ワシントン州における単独感染であり、1 件は馬インフルエンザとの混合感染であっ

た。臨床症状は、食欲不振、咳、リンパ節腫脹、リンパ節膿瘍、鼻汁、発熱であった。四半期後にワシントン州における1件が報告された。

Streptococcus zooepidemicus

スウェーデン

セーデルマンランド県で1件報告された。

消化器疾患

発生国	馬コロナウイルス	ロドコッカス	ロタウイルス	サルモネラ症
アルゼンチン	-	-	3 [#]	-
フランス	-	1	-	-
ドイツ	-	-	-	1
オランダ	12	-	-	16
スイス	1	-	-	-
アメリカ	1	-	-	-

コロナウイルス

オランダ

以下の地域において単独感染 12 件が報告された：フリースランド州、ヘルデルラント州、ノールトブラハント州、ノールトホラント州、オーファーアイゼル州、ユトレヒト州。陽性診断は PCR によって確認された。

スイス

チューリッヒ州の 1 施設において 1 頭報告された。臨床症状は下痢と発熱であった。陽性診断は糞便の PCR で確認された。

アメリカ

ワシントン州の 1 施設において 1 頭報告された。

ロドコッカス

フランス

イルエビレーヌ県の 1 施設において 1 頭報告された。陽性診断は糞便の細菌学的検査で確認された。

ロタウイルス

#アルゼンチン

四半期後に、アルゼンチンの 3 施設においてワクチン接種サラブレッド牝馬から産まれた子馬 19 頭が A 群ロタウイルスに感染したと報告された。繁殖牝馬は出産予定日の 45、15 日前にロタウイルスワクチンを 2 回接種されていた。陽性診断は PCR で確認された。

サルモネラ症

ドイツ

ザクセン州において 1 件報告された。陽性診断は糞便の PCR で確認された。

オランダ

以下の地域において 16 件の単独感染が報告された：リンブルフ州、フリースラント州、ノールトブラハント州、ノールトホラント州、ユトレヒト州。陽性診断は PCR で確認された。

神経疾患

発生国	EEE	EEV	EHV-1	WNV
カナダ	10	-	3	8
フランス	-	-	6	24
ドイツ	-	-	-	4
イタリア	-	-	-	3 [#]
オランダ	-	-	1	
南アフリカ	-	1 [#]	-	-
スウェーデン	-	-	1	-
チュニジア	-	-	-	4
イギリス	-	-	1	-
アメリカ	16	-	4	36

[#]四半期後に報告があった追加情報

東部馬脳炎 (EEE)

カナダ

オンタリオ州とケベック州において単独感染 10 件が報告された。臨床症状として運動失調、精神状態の変化、旋回、転倒、ヘッドプレッシング、測定過大、筋肉振戦、失明、知覚鈍麻、発熱、横臥、瞳孔対光反射低下、つまずき、虚弱を示した。

アメリカ

16 件が報告され、いずれも以下の地域における単独感染であった：フロリダ州、ミシガン州、ニューヨーク州、テネシー州、ベルモント州、ウィスコンシン州。臨床症状として運動失調、歯ぎしり、沈鬱、転倒、協調運動失調、ヘッドプレッシング、努力性呼吸、起立不能、無気力、筋攣縮、発熱、横臥、流涎、発作、ふらつき、頻脈、その他神経症状を示した。

馬脳症ウイルス (EEV)

#南アフリカ

EEV は南アフリカにおける風土病とされている。四半期終了後、リンポポ州の 1 施設において 1 頭報告された。

馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による神経疾患

カナダ

3 件が報告された。1 件はオンタリオ州の 1 施設における 2 頭、2 件はオンタリオ州の異なる施設における単独感染である。臨床症状は運動失調、急性神経症状であり、1 件では横臥、発作を呈し、安楽死された。

フランス

6 件が報告された。1 件はエソンヌ県の 1 施設における 4 頭、1 件はオードセーヌ県の 1 施設における 3 頭、4 件はエソンヌ県、ウールエロワール県、オルヌ県、フランス/スイス国境における単独感染であった。臨床症状は運動失調、消耗、不全麻痺、発熱、横臥であった。

オランダ

フリースランド州の 1 施設において 1 頭報告された。臨床症状としては、運動失調、脳炎、四肢浮腫、発熱、横臥などがみられた。陽性診断は PCR で確認された。

スウェーデン

ウプサラ県の 1 施設において 1 頭報告された。臨床症状としては、運動失調、後肢の浮腫、発熱を呈した。陽性診断は鼻腔スワブの PCR で確認された。

イギリス

グロスターシャーの 1 施設において 1 頭報告された。臨床症状には運動失調、固有受容感覚の低下、尾の牽引に対する反応低下などがあった。陽性診断は 2024 年 10 月 24 日に中程度から高い CF 抗体価によって確認された（同馬に最近のワクチン接種歴はない）。

アメリカ

4 件報告された。1 件はワシントン州の 1 施設における 2 頭、3 件はバージニア州とウィスコンシン州における単独感染である。臨床症状は運動失調、失禁、発熱、横臥であった。

ウエストナイルウイルス (WNV)

カナダ

8 件が報告された。1 件はオンタリオ州の 1 施設における 2 頭、7 件はオンタリオ州とケベック州における単独感染である。臨床症状としては、運動失調、鈍麻、知覚過敏、測定過大、無気力、筋攣縮、発熱、つまずき、筋痙攣がみられた。

フランス

24 件が報告された。1 件は 13 頭の無症状馬、1 件は 7 頭、1 件は 6 頭であり、これらは全てマルティニーク島であった。1 件はエロー県における 3 頭であった。20 件は以下の地域における単独感染であった：ブーシュデュローヌ県、ガル県、ジロンド県、グアドループ県、オートコルス県、ヴァール県。臨床症状として運動失調、無気力、麻痺、不全麻痺、発熱、横臥、硬直、震えなどを示した。陽性診断は何頭かにおいて ELISA で確認された。

ドイツ

ヘッセン州、ニーダーザクセン州、ラインラント・プファルツ州において 4 件の単独感染が報告された。陽性診断は ELISA またはウイルス分離によって確認された。

#イタリア

四半期後にトスカーナ州、カンパニア州において 3 件の単独感染が報告された。

チュニジア

4 件が報告された。1 件はベンナラス県の 2 頭、3 件はビゼルト県、カスリーヌ県、マーディア県における単独感染であった。陽性診断は PCR とゲノムシーケンスによって確認された。

アメリカ合衆国

36 件の単独感染が以下の地域において報告された：アリゾナ州、コロラド州、フロリダ州、ジョージア州、インディアナ州、ケンタッキー州、ミシガン州、ネブラスカ州、ニューヨーク州、ノースカロライナ州、オクラホマ州、ペンシルベニア州、サウスカロライナ州、テネシー州、ユタ州、ウィスコンシン州。臨床症状としては、行動の変化、運動失調、沈鬱、頭部反転動作、起立不能、食欲低下、協調運動失調、跛行、無気力、固有受容感覚欠損、発熱、横臥、硬直、つまずき、震え、虚弱、その他神経症状を示した。

その他の疾患

発生国	AHS	アナプラズマ症	EIA	EGS	レプトスピラ症
ベルギー	-	-	2	-	-
カナダ	-	1	6	-	-
ドイツ	-	2	-	-	-
イタリア	-	-	6 [#]	-	1 [#]
オランダ	-	2	-	-	-
ナイジェリア	1	-	-	-	-
南アフリカ	2 [#]	-	-	-	-
スイス	-	1	-	-	-
イギリス	-	-	-	9 [#]	-
アメリカ	-	-	21	-	-

[#]四半期後に報告があった追加情報

発生国	ライム病	ハト熱	ピロプラズマ症	馬ポトマック熱
カナダ	1	-	-	-
フランス	-	-	1	-
イタリア	-	-	87 [#]	-
オランダ	-	-	4	-
南アフリカ	-	-	73 [#]	-
スイス	1	-	1	-
アメリカ	-	2	-	1

[#]四半期後に報告があった追加情報

アフリカ馬疫 (AHS)

ナイジェリア

プラトー州バーキンラディにある Jos ポロクラブにおいて 1 件報告された。同施設には 83 頭が繋養されており、17 頭が AHS により死亡した。陽性診断は RT-PCR によって確認された。

#南アフリカ

AHS は西ケープ州の AHS 管理地域を除き、南アフリカの風土病である。四半期終了後、ハウテン州 (2 頭) において発生、報告された。

アナプラズマ症

カナダ

ケベック州の 1 施設において 1 頭報告された。臨床症状は協調運動失調、発熱、後躯の発汗であった。

ドイツ

ニーダーザクセン州の異なる施設において2件の単独感染が報告された。陽性診断はEDTA血液によるPCRで確認された。

オランダ

ヘルデルラント州とノールトホラント州において2件の単独感染が報告された。陽性診断はPCRで確認された。

スイス

ヴァレー州の1施設においてピロプラズマ症との混合感染が1頭報告された。臨床症状は貧血と発熱であった。陽性診断はPCRで確認された。

馬伝染性貧血 (EIA)

ベルギー

エノー州とリンブルフ州において単独感染が2件報告された。陽性診断はELISAと寒天ゲル内沈降反応によって確認された。

カナダ

6件が報告された。そのうち1件はサスカチュワン州における7頭、1件は同じくサスカチュワン州における3頭、4件はアルバータ州とサスカチュワン州における単独感染であった。

#イタリア

四半期後に以下の地域において6件が報告された：ラツィオ州（1件）、エミリアロマーニャ州（4件）、アブルツツォ州（1件）、プーリア州（1件）、カンパニア州（1件）。感染動物は8頭であった（馬4頭、ロバ3頭、ラバ1頭）。陽性診断は血清によるELISAと寒天ゲル内沈降反応によって確認された。

アメリカ合衆国

21件が報告された。1件はカリフォルニア州の競馬場における23頭であった。その後の流行は全てテキサス州の施設で起こった。1件は8頭、1件は7頭、1件は6頭、1件は5頭、1件は3頭、2件は2頭、そして13件が単独感染であった。

馬のグラスシックネス (EGS)

#イギリス

以下の地域において9件の単独感染が報告された：イーストサセックス、ハイランド、ケント、パースアンドキンロス、サフォーク。アバディーン、サフォークにおける2件は四半期後に報告された。

レプトスピラ症

#イタリア

四半期後にラツィオ州における2件が報告された。1件は5頭、もう1件は異なる施設において2頭が感染した。

ライム病

カナダ

ケベック州の1施設において1頭報告された。

スイス

ボー島の1施設において1頭報告された。臨床症状は多発性関節炎と疲労感であった。陽性診断はPCRによって確認された。

ハト熱

アメリカ合衆国

ハト熱 (*Corynebacterium pseudotuberculosis*) が2件報告された。1件はケンタッキー州の1施設における8頭、1件はアイダホ州における1頭であった。単独感染における臨床症状は胸部の大きな膿瘍形成であり、それは破裂し、膿瘍物が排出した。

ピロプラズマ症

フランス

フランス/スイス国境付近の1施設においてピロプラズマ症 (*Theileria equi*) が報告された。臨床症状は発熱であった。陽性診断はPCRによって確認された。

#イタリア

四半期後に76頭のピロプラズマ症 (*Theileria equi*) が報告された。ラツィオ州50頭、トスカーナ州15頭、バジリカータ州11頭。2件は組織のPCRで、74頭はEDTA血液のPCRで確認された。四半期後に11件のピロプラズマ症 (*Babesia caballi*) が報告された。ラツィオ州8頭、トスカーナ州2頭、バジリカータ州1頭であった。陽性診断はEDTA血液のPCRによって確認された。

オランダ

ヘルデルラント州、ノールトブラバント州、ゾイトホラント州においてピロプラズマ症 (*Theileria equi*) の単独感染4件が報告された。陽性診断はPCRによって確認された。

#南アフリカ

ピロプラズマ症は南アフリカにおいて風土病とみなされており、四半期終了後、南アフリカの9州のうち7州から症例が報告された。*B. caballi* : 北ケープ州 (1頭)、西ケープ州 (3頭)。*T. equi* : 東ケープ州 (2頭)、ハウテン州 (24頭)、クワズール・ナタール州 (3頭)、リンポポ州 (9頭)、ムプマランガ州 (5頭)、西ケープ州 (26頭)。

スイス

ジュラ州の1施設においてピロプラズマ症 (*Theileria equi*) が1頭報告された。臨床症状は発熱であった。陽性診断はPCRによって確認された。

馬ポトマック熱

アメリカ合衆国

ワシントン州において1頭報告された。

日本の競走馬における馬伝染性貧血のサーベイランス検査結果

2025年1月15日

軽種馬防疫協議会

2017年に農林水産省により、日本において馬伝染性貧血（EIA）は清浄化されたと結論づけられ、その後もEIAの清浄性の維持を確認するため、日本中央競馬会（JRA）と地方自治体が管轄する各トレーニング・センターまたは競馬場において、2020年からEIAの自衛的なサーベイランス検査を行っている。2024年においても、各施設約300～2,000頭程度の競走馬の中から、それぞれ無作為に60頭を抽出し、2024年秋に採取した血清サンプルを用いて寒天ゲル内沈降反応による検査を実施した。

サーベイランス検査の結果を下表に示す。EIA陽性馬は検出されず、日本の競走馬集団におけるEIAの有病率は95%信頼区間で5%未満であることが示唆された。

表 2024年EIAサーベイランス検査結果

トレーニング・センター 競馬場	団体名 (JRA、地方自治体)	検体数	陽性頭数
美浦トレーニング・センター	JRA	60	0
栗東トレーニング・センター	JRA	60	0
帯広競馬場	帯広市（北海道）	60	0
門別競馬場	北海道	60	0
盛岡競馬場	岩手県	60	0
水沢競馬場	岩手県	60	0
大井競馬場	東京都	60	0
浦和競馬場	埼玉県	60	0
船橋競馬場	千葉県	60	0
川崎競馬場	神奈川県	60	0
金沢競馬場	石川県	60	0
笠松競馬場	岐阜県	60	0
名古屋競馬場	愛知県	60	0
園田競馬場	兵庫県	60	0
高知競馬場	高知県	60	0

日本における馬伝染性子宮炎のサーベイランス検査結果

2025年1月15日
軽種馬防疫協議会

馬伝染性子宮炎（CEM）は、1980年に北海道の日高・胆振地方において国内で初めての流行を見せ、同年中に321頭の馬から *Taylorella equigenitalis* が分離された。2001年からはPCR検査を用いたCEMの清浄化への取り組みが始まり、繁殖登録されているサラブレッド全頭を対象に、毎年繁殖シーズン前にPCR検査による調査を行った。調査結果を表1に示す。陽性馬に対しては治療を行い、3回連続で陰性判定が得られるまでPCR検査を実施した。また、治療にもかかわらずPCR陽性が続いた場合には、安楽死処置を行った。2011年に「馬防疫検討会」において、2010年以降、国内のサラブレッドはCEMから清浄化されていると結論づけられた。

表1. CEM清浄化プログラムにおける検査頭数およびPCR陽性摘発頭数

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
登録種牡馬	411	412	389	351	331	305	281	282	311	269
登録繁殖牝馬	12,411	12,276	11,499	11,130	10,670	10,297	10,253	10,263	9,872	10,765
PCR陽性牡馬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PCR陽性牝馬	10	4	2	1	1	0	0	0	0	0

同年に複数回PCR検査を実施した馬を含む。PCR陽性馬のうち、2001年に2頭、2002年、2004年、2005年に各1頭の牝馬が安楽死となった。

2011年からは抽出サーベイランスを行っている。牡馬については、繁殖シーズン前に全頭に対してPCR検査を行い、陰性を確認した後、繁殖シーズン後にもほとんどの馬に再検査を実施している。牝馬については、初交配前および子宮内膜炎症状がみられた際にPCR検査を行っている。調査の結果、2020年現在まで陽性例は認められていない（表2）。今後も国内における繁殖用馬に対するサーベイランスおよびICCへの報告を継続していく。

表2. PCR検査による抽出サーベイランスの結果

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
繁殖用牡馬	253	240	263	230	223	232	248	236	
PCR検査牡馬	425	479	459	465	509	467	475	465	
PCR検査牝馬	初交配前	906	1,024	1,170	1,067	1,072	1,133	1,204	1,196
	子宮内膜炎症時	23	1	277	328	287	303	285	267
PCR陽性牡馬	0	0	0	0	0	0	0	0	
PCR陽性牝馬	0	0	0	0	0	0	0	0	

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
繁殖用牡馬	241	267	280	286	286	298	
PCR検査牡馬	449	480	484	497	496	499	
PCR検査牝馬	初交配前	1,292	1,258	1,183	1,195	1,396	1,397
	子宮内膜炎症時	256	318	309	317	321	326
PCR陽性牡馬	0	0	0	0	0	0	
PCR陽性牝馬	0	0	0	0	0	0	

※2024繁殖用牡馬の頭数根拠：JAIRSホームページ/統計データベース/サラブレッドの生産頭数等各種統計/2024年/種雄馬/共用予定種雄馬地区別・品種別頭数より引用

韓国における血清および qPCR サーベイランス調査 2024

動物植物検疫所/韓国馬事会

ピロプラズマ症の血清サーベイランス 2024

上半期および下半期において、KRA(韓国馬事会)競馬場、KRA もしくは民間牧場に繋養されるサラブレッド種牡馬、繁殖牝馬、競走馬、ポニー乗用馬等 358 頭の検体を用いてピロプラズマ症の血清サーベイランス検査を行った。検査は KRA によって行われた。

ピロプラズマ症 (*B. caballi*, *T. equi*)

市販されている cELISA (Antibody test kit; VMRD USA; OIE authorized method)を用いて検査したところ、*B. caballi*および *T. equi*ともに 358 全検体陰性であった。

スーラ病の血清サーベイランス 2024

スーラ病の血清サーベイランスは KRA 競馬場もしくは牧場に繋養されるサラブレッド種牡馬、繁殖牝馬、競走馬、ポニー乗用馬等 358 頭の検体を用いて血清サーベイランス検査を行った。検査は KRA によって行われた。

スーラ病 (*T. evansi*)

市販の CATT/*T. evansi* kit(AT&-PU, ベルギー)によって検査され、全検体が陰性であった。

馬伝染性子宮炎 (CEM) の PCR サーベイランス 2024

KRA は韓国登録協会(Korean studbook, <http://studbook.kra.co.kr>)に登録されているサラブレッド種牡馬および繁殖牝馬から 2,109 検体の CEM 検査を実施した。

馬伝染性子宮炎

生殖器スワブによる qPCR によって検査し、全検体が陰性であった。

血清サーベイランス検査 2024

大韓民国における下記疾病に対する伝染病が存在している可能性に対して血清学的証拠を調査するため、アフリカ馬疫、水疱性口内炎、馬伝染性貧血、馬ウイルス性動脈炎、日本

脳炎、ウエストナイル熱、馬インフルエンザに対する血清サーベイランスを行った。

サラブレッド牡馬、繁殖牝馬、競走馬、ポニー、乗用馬などから血清 1,364 検体を得た。検体採取は KRA が行い、検査は韓国動物植物検疫所 (APQA) が行った。

アフリカ馬疫 (AHS)

市販 ELISA キット (INGENASA; スペイン) および VN 試験において全検体陰性であった。

水疱性口内炎 (VS)

市販 ELISA キットおよび VN 試験において全検体陰性であった。

馬伝染性貧血 (EIA)

市販 ELISA キットおよび AGID 試験において全検体陰性であった。

ウエストナイル熱 (WNF)

市販 IgM 抗体捕捉 ELISA キットおよび VN 試験において全検体陰性であった。

馬ウイルス性動脈炎 (EVA)

市販 ELISA キット (IDVET; スペイン) および VN 試験において全検体陰性であった。

日本脳炎 (JE)

ウイルス中和試験を行い、1,364 検体中 1,205 検体 (88.3%) において抗体陽性であった。すべての血清陽性はワクチン接種によるものであった。

馬インフルエンザ (EI)

血球凝集抑制試験を行い、1,364 検体中 1,278 検体 (93.7%) において抗体陽性であった。すべての血清陽性はワクチン接種によるものであった。